

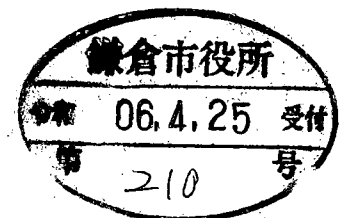
鎌倉市長

住所 鎌倉市御成町1-12 (公益社団法人鎌倉市観光協会内)
 団体名 特定非営利活動法人 湘南バリアフリースターセンター
 代表者氏名 理事長 榊原 正博

★6-1

協働事業報告書

【事業名】	車いす観光バリアフリーマップ作成に係る調査事業		
市担当課	市民防災部観光課		
団体名	特定非営利活動法人 湘南バリアフリースターセンター		
事業実施期間	令和5年(2023年)2月13日～令和6年(2024年)3月31日		
事業費	300,000 円	負担金額	210,000 円
事業目的	車いすの方が楽しめる観光プランを提供することで、第3期鎌倉市観光基本計画の目標の1つである「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」の達成に寄与すること。 【達成できた点】 現在マップに掲載されているスポットの調査は全て行う事ができた。 【達成できなかった点】 新しく発見されたスポットについては、調査の交渉の時間の含め、時間が足りなかったため、別途調整した上で、訪問することとする。		
事業の 成果目標 (数値目標)	次年度の印刷に向けバリアフリーマップの内容を更新・拡充し、配布を行い、観光客の満足度の90.0%への向上の一助とする。 【実績】 バリアフリーマップ鎌倉版の内容について、再調査を行い、拡充する内容を検討した。 令和5年度の観光客の満足度は集計中のため、現時点では不明。		
事業概要	車いすを御利用の方を対象として市内観光マップ(以下「マップ」という。)の作成、印刷及び配布を行う事業。 令和5年度以降は、これまでに作成したマップの内容の更新・拡充に注力するため、マップの内容更新と印刷を分けて行う事で協議した。令和5年度は鎌倉版の内容の更新・拡充を図るため、調査を行った。印刷は次年度を予定している。		
事業実施の 実績	【実績】 ○市の役割 バリアフリーマップに必要な情報の提供 取材の協力 協働事業者から提出された調査結果の確認 ○市民活動団体の役割 掲載内容の取材・調査 ○具体的に行ったこと・時期 4月～10月今年度以降の協働事業の方向性、掲載地域及び掲載内容の決定 11月～2月 協定締結に向けた調整 2月～3月 バリアフリーマップ鎌倉版の調査及び報告書の作成		



【協働の評価】

協働で進めて いきたい理由	令和元年度に鎌倉、北鎌倉及び長谷地域のマップを作成したところ、車いす利用者を対象とした新たな観光マップとして一定の需要が見られ、車いすユーザーの目線でのマップの作成を見込めるため。
協働の 成果・効果	【協働の成果目標】 当事者の視点に立った正確な観光情報を提供できるマップの作成
	【達成できた点】 調査する情報について事前の整合を取ることができた。
	【達成できなかった点】 とくに無し
相互評価 ※上手くいったこと 問題点・課題など	【事業実施前】 ★3 ○市 今年度以降の協働事業の方向性について決定に時間を要してしまったため、来年度はより緊密な連携を取れるようにしていきたい。 ○団体 打合せの日程調整がうまくいかなかった。来年度から事務局を常設し、対応を常時とれるようにする。
	【事業実施中】 ★4 ○市 掲載内容について、市から提供できるデータの案内を行った。 ○団体 既存のスポットについては、調査報告内容について高い評価をもらっていたため、非常に協力的に対応頂けた。
	【事業終了時】 ★5 ○市 掲載ポイントへの道の詳細等、より当事者の視点にたったマップに繋げられるように検討していきたい。 ○団体 マップの入手場所について、各スポットから問合せを受けることが多かった。マップの入手の容易性について検討する必要があると感じた。
今後の展望	閉店しているスポットもあり、新しくオープンするスポットもあった。 継続的に最新情報を提供する仕組みについて、検討する機会を設けていけると良いと思われる。